



2015年
平成27年12月号

編集・発行
(一財)徳島県婦人団体連合会
〒770-0942 徳島市昭和町2丁目1番地
TEL 088-622-9639 FAX 088-622-9667
e-mail:fujinkai-tokushima@sepia.plala.or.jp



新年のごあいさつ

一般財団法人徳島県婦人団体連合会

会長 藤田 育美



あけましておめでとうございます。
昨年は30周年の記念行事と四国大会を成功のうちに終えることができたのも、会員さん、地区会長さん、また理事の皆様の団結とご協力のお蔭だと心より感謝申し上げます。

また、会館問題については、皆様のご理解を頂き、理事会及び評議委員会も全員の賛成で通過致しました。来年度は契約という方向に進んで参りますとともに、入居者の皆様との話し合いも行い、ご協力を頂き、進めて参りたいと思います。

今年のテーマは、昨年に引き続き、健康と感動と夢の3つを第一に考え、「健康第一、ハートにタッチ、ドリームキャッチ」をテーマに、会員の皆様と一緒に活動をして参りたいと思いますので、皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

今年も一年、どんな時でも楽しく活動して参りましょう。

今こそ婦人会、やっぱり婦人会

平成27年度 全地婦連四国ブロック大会 IN 徳島県



笑いヨガでリフレッシュ♪

開催日：平成27年10月15・16日
場 所：ホテルグランドパレス徳島

全地婦連四国ブロック大会を終えて

徳島県婦人団体連合会 理事 上野 恵子

ホテルグランドパレス徳島において、四国ブロック大会が、4県185名の参加により開催されました。

遠く北海道からご参加いただいた全地婦連中田和子副会長の挨拶のあと、1日目の研究テーマ「地方創生」と「地域防災」について各県代表者による発表が行われました。その後、鳴門教育大学の阪根健二教授による「地域防災を考える」と題した講演があり、笑いありユーモアを交えながらのお話は、高齢化していく私達にとっても役立つことばかりでした。

2日目は、旅の疲れをほぐしてもらおうと「笑いヨガ」で身体を動かしたあと、「北方四島ビザなし交流に参加して」と題して、藤田会長、吉成副会長、矢野理事、美馬市連合婦人会理事大館様の4名から参加報告を発表していただきました。

一度は引こうとしたこの大会も理事のパワーで成し遂げることができました。万歳！



「地域が元気に～婚活パーティ～」
秋成ふみよ副会長



「地域防災について」
吉成由美子副会長



藤田育美（以下F）先生、本当にご苦勞様でございました。

山口俊一（以下Y）色々お世話になりました。

F：先生とは前にいろいろお会いする場がありましたね。北方領土の現状報告、北方領土の日ですね。

Y：そうですね。会長も北方領土の方をやっていただいていたので、よかったですよ。大会でお話しする時も一緒にさせてください。

F：山口先生とお話をすることができて、思い出の1頁になりました。

Y：事務方から、藤田会長がいらっしゃることを聞いていたので、楽しみにしていました。

F：NHKの石川さんも一緒に行ってまして、ちょうどソチオリンピックと重なり複雑だったんだけど、北方領土問題は難しいですね。

Y：返還はなかなかね。特にクリミア問題があったでしょう？あれでロシアが国際的に孤立をしたのでね。日本はなんとかして、平和の窓口を開けてはいるのだけれども、ロシア側の機嫌がちょっと悪いんですね。まあ、今度、シリアやテロの関係で、国際社会の中にロシアが復帰しそうなので。今年は無理でしたが、来年首脳会談をしますから、ある程度の話はできると思いますよ。

F：前原先生と昨年の北方領土ビザなし訪問で一緒しましたので、「前原先生も外務大臣をおやりでしたから、北方領土についてどのようにお考えですか？」って伺ったら、「歯舞と色丹は返還の可能性もあるかもしれないけれど、やっぱり国後は入れてもらわないと。択捉は難しいのかな」とおっしゃっていました。

Y：おそらくプーチン大統領は引き分けに持ち込みたいでしょうね。だから、2対2ですよ。ただこっちとしてはそうはいかないんで、2島は返還してもらおう、あとの2つはこれからの継続協議にしてくれたらいいですね。実はそれが狙いで、まあこれが申し訳ないけど、20年後・30年後になるかもわかりませんが、それを了解してくれたら動きます。

F：実際に現地に行ってみると、政治抜きに考えて、ロシアの方たちも70年間住んでいるのだから、共同所有にした方がいいのかなと思いました。

Y：とりあえずは混住でいいと思うんですよ。2島もね。それで更に仲良くなって、じゃあゆっくり話しましょうよってしてくれたらありがたいですよ。

F：我々の婦人会も、北方領土ビザなし訪問に参加するようにしているんですけど、参加しても報告がほとんどないし、発表をするということが行なわれていないんですよ。もったいないけど、訪問にはいくらお金がかかっているか、私はすごくそれについて考えてるんです。それで計算をしてみたら、えとびりか号を借りて研修や交流会をすると、1人50万円ぐらいはかかるんです。それに見合う活動、ビザなし訪問に参加した人はしないといけないんじゃないかって思って。それで、私はビザなし訪問から帰ってきて10回ほど報告会をしました。

Y：ありがとうございます。婦人会にそのような取り組みをしていただけると、助かります。今度、学生にビザなし訪問で北方領土に行ってもらって、全国で体験報告をしてもらう取り組みを始めました。学生は、なかなかいいですよ。

F：学生や婦人会の人は、熱心だし真面目ですからね。報告会をしたら、非常に喜ばれますよ。「知らなかった」って！

Y：知らない人がほとんどです。会長もご存知の通り、元島民の平均年齢が80いくつだったかな。後を継ぐ人が育たないと困るので、学生に北方領土問題を知ってもらうよう、働き掛けているんですよ。昔は「北方領土」と言えば特定の思想のように思われていたのですが、今はそうではないんです。

F：実際に北方領土に行った人達が、見たことを自分だけ留めないで、多くの人に現状を伝えることが大切です。

Y：語り継いでもらえるとありがたいですね。世論調査しても北方領土問題を知らないという人が本当に多いです。相変わらずというか、特に若い人は北方領土自体を知らないという人が増えているんですよ。

F：今年は、県民会議で婦人会からは2名がビザなし訪問に参加してきました。昨年の参加者2名と併せて4名がパワーアップした報告会を開きたいと思っています。

Y：パネルディスカッションをするのであれば行きますから（笑）。

F：それから先生、沖縄の方はどうですか？

Y：沖縄は難しいですね。ある意味ね、気持ちの問題なんですよ。今までずっと無視されてきた、虐げられてきた、またか、みたいな話なんですよ。実際は実は普天間という世界一危険な空港の危険性を除去する、そのためには縮小して場所を移しましょうということなんで、基地の負担が沖縄の皆さんにとって増えることではないんです、物理的には。ただ、気持ちとして許しがたい。それにどう応えるかっていうことなんですよ。難しいです。

Y：しかしもう裁判になります。裁判はおそらく国が勝ちます。その段階で沖縄県知事としては、打つ手がなくなるんですね。その時になにか相談に乗れないかなと思っています。

F：安全保障の面で、今、中国の変化も気になります。尖閣諸島の問題をはじめいろいろな問題がありますね。アメリカが弱くなって、ロシアや中国が強くなってくると大変になってきますね。テロの問題もありますし。

Y：おっしゃる通りで、これから10年、20年の間、アメリカはどんどん弱ります。下手するとあと20年後、中国の軍力がアメリカを上回る可能性が高い。その時どうするのってということで、みんなが力を合わせて、歯止めかけていながら、中国が国際社会の一員としての自覚を持ってもらわないと仕方がないですよ。

F：環境問題にしてもね。

Y：そうですね。尖閣はあまりにひどいし、南シナ海はメチャクチャですよ。沖縄のサンゴどころではないですよ。サンゴ礁を埋め立てて島にしてしまってるんですよ。軍事施設作りますから。

F：中国は環境法はあまり言わないから、住めないって聞きました。

Y：そりゃ、北京なんてひどいですよ。でも、日本は協力してるんですよ。環境問題にしてもね。

F：中国も日本を切り捨てることはできないでしょう。ほんとはね。それと生活能力が上がってきてるから。

Y：生活レベルが上がって、お金持ちが増えてきてますし、自覚がある人が増えてきているんで、中国もこれからなかなか簡単にはいかないと思いますね。ただ困るのが、国内が混乱をして、やれ難民だ、やれ戦争だとなられると困るんですよ、隣として。

F：話は変わりますが、婦人会は、国防婦人会の後に新しい組織として誕生しました。県婦連が出来たのは昭和23年です。

Y：普通選挙を期にできあがったんですね。

F：そうなんです。女性の地位向上が取りざたされて、女性の国会議員が増えた時だったのですが、今はだんだんと弱ってきて、うちも会員数が2万人を切りました。老人会と違って、社会教育団体で、教育委員会の中に属しているんですが、予算がとて厳しいんです。婦人会がなくなると大変です。国会議員や県議員の皆様は、この社会教育団体を、もう少し強くなるよう、ご支援をいただければと思います。

Y：全く同感ですね。私の町内会でも機能が非常に弱ってきていて、なんとかしたいと議員立法を作りました。婦人会も、さっきお話に出てきたように社会教育の分野のため、政治的に結構ぬかっていたのかもしれない。これは、しっかりやるように議員立法を含めて考えてみますので、お知恵拝借お願いします。

F：国会議員の皆様には、社会教育団体にももう少し力を貸してほしいと思います。若い人も入ってこられるような仕組みを作っていただければ。

Y：おそらく社会教育の中へ閉じ込めるから、あんまり予算もつかないし、力が国としても入れてないんだと思います。今や行政にとって婦人会の活動はなくてはならないものです。市や町にしても、婦人会が協力してくれなかったらまわりません。社会福祉もそうです。社会保障関係も。そこらへんも膨らませて、法律を考えてみます。

Y：婦人会は、婚活にも取り組まれていますよね。会長にお願いしたいのは、婦人会の方に「でしゃばりおばさん」として仲人をしてもらいたいなど。

F：昨年度まで、県からの委託事業である「きらめき縁結び応援育成事業」に取り組んできました。5年くらい続けて取り組みをしたかったのですが、残念ながら2年で終わってしまいました。

Y：5年ぐらいやらないものにはなりませんよね。結果として、そういう意識をもつ婦人会メンバーが増えたらありがたいですよ。

F：婦人会員は、仲人の役目ができるんですよ。今、「地方創生」で婚活の事業を地域に振り分けて、社協を中心していることが多いですけど、これではなかなか進まないのではないかなと思っています。

Y：私も前から、仲人は婦人会もしくは役場のOBに頼むべきだと言っているんですよ。やはり、地域のことをよく知らない。

F：この間、三好市で婚活の講演を1時間半してきたんですよ。委託事業を頂かなくても婚活事業は継続しています。

Y：委託事業としてやってください、5年間。

F：知事さんにお願いして、2人ぐらい専属をお願い。

Y：講習会も必要でしょうし、データベースも絶対いりますね。婚活関係の交付金出ますから、活用してください。

F：国から県に予算が下りても、今度は市町村へ行くでしょ。だけど、市町村の婦人会だけでは弱いんです。市町村の婦人会が取りにいても、専属の事務局がないところが殆どで。今のところは、県婦連でまとめていかないに進みません。

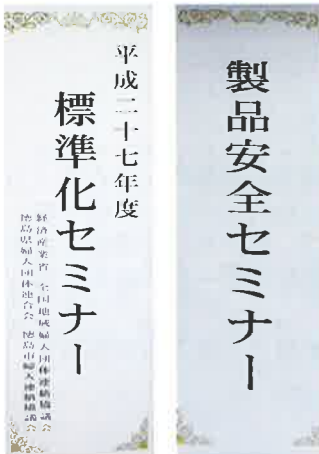
Y：また協力させてもらいます。

F：また婦人会でもお願いしたいと思います。今日はありがとうございました。

Y：ありがとうございました。



短い時間でしたが、有意義なお話をする事ができました。先生の頼もしいお言葉に大変励まされ、婦人会活動をする上でファイトをいただきました。ご公務ご多用の中、お時間をいただきありがとうございました。



標準化セミナー・製品安全セミナー開催

平成27年8月25日、悪しくも台風15号が昼前に徳島県に接近とあって朝から暴風雨の中、会場の徳島市役所へ100名参加予定が60名となりました。講師も前日から徳島入りしていただいております、無事開催できました。このセミナーは、私たちの生活を安全・安心・便利な生活を支えていることを実感できました。今回で3回目の開催となり、受講者も260名になりました。

標準化の役割 → 共通したものを使うことで理解しやすくなる。
(案内標識例)



洗濯表示が2016年12月から変わります。
洗剤・洗濯機などの技術進歩にあわせ市場のグローバル化への対応のためです。

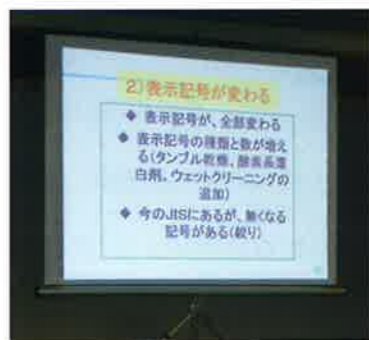
標準化セミナー・製品安全セミナーに参加して

徳島市不動産婦人会 会長 佐野 紀代

標準化セミナーと製品安全セミナーに参加させていただき、多くのことを学ぶことができました。その内容についてご紹介いたします。

私達の暮らしを支える標準化とは、製品やサービス、もののあり方等がバラバラでは困ることから、こうした悪い状態を、大人、子ども、高齢者、障害者等の目線で、一つにまとめる(統一する)ことです。1904年、アメリカのボルチモアで発生した火事では、各地から多くの消防団が駆けつけたにもかかわらず、消火栓にホースが合わなかったことから大きな被害が出ました。標準化は、誰でもがわかりやすく、使用しやすいようにするためのものです。それを明文化したものが規格であり、国が定める規格を「国家規格」、国際標準化機関が定める規格を「国際規格」と言います。標準化の役割は、共通したものを使うことで理解しやすくなることや、製品やメーカーが異なっても利用できることです。

製品の事故を防ぎ、安全に使用するためには、製造事業者、販売事業者、消費者、それぞれが役割を果たすことが重要です。製品の誤った使い方による事故事例としては、電源コードのねじり接続による事故事例や、電源プラグをコンセントに差しっぱなしにして火災に至った事故事例があります。年に一回は、冷蔵庫などのプラグをコンセントから抜いてホコリを取り掃除することが大切です。消費者である私達は、使い方の注意を守って正しく使うことが重要です。



街から5分で秘境
自然とやすらぎの里
「徳島県山川町」にあるふいご温泉。
渓谷の美しい谷間を生かした温泉施設です。

News 2013年7月にリニューアルいたしました。

静けさとやすらぎの空間
徳島県吉野川市山川町久宗31-1
TEL.0883-42-4700
FAX.0883-42-5034



阿南市新野町婦人会 会長 岩倉 孝江

新野町は阿南市の南西部に位置し、桑野川上流域を含め四方を連山にかこまれた盆地のような地形で、面積の85%は山地となっています。山地には竹林が多く、タケノコの特産地で、タケノコの水煮や缶詰加工も盛んです。

この竹林の中で音楽を楽しもうと地域のボランティアが中心となり会場作りから力を合わせ、春と秋に『竹林コンサート』を開催しました。地元のウクレレグループを始めオカリナ・ギター等のいろいろなグループによる演奏があり、竹林をわたる風の中で楽しみました。また会場では特産品でもあるタケノコの入った手巻き寿司や米パンなどの出店もありました。

人口が減少し、さびれていく新野町をどうにか活気づけようと始まった『竹林コンサート』次回もボランティア力を合わせ頑張ります。ぜひ次回は足を運んでいただき竹林の中でゆっくり演奏をお楽しみ下さい。



「おもと(万年青)」

那賀郡婦人会連合会 副会長 谷崎初代

ユリ科の多年生草本で四季を通じて葉が緑であることから『万年青』と書いて「オモト」と名前が付いたそうです。

那賀町相生地区で栽培されている『相生おもと』は、お正月の祝儀用生け花として使用され「都の城(みやこのじょう)」「大宗観(だいそうかん)」「青おもと」の三種類が栽培され、品質、生産量とも日本一を誇り、全国の花き市場に出荷されています。



～わが町自慢! 郷土レシピ～ 【芋もち】

海部郡穴喰婦人会

【材料】(5人分)

- 餅 米 400g
- 紫 芋 200g
- こしあん(砂糖入り) 200g
- 食 塩 少々
- きな粉 少々

【作り方】

- ①紫芋は皮をむいてから蒸す。
- ②餅をつく。途中で紫芋を入れる。
- ③あんこを入れる。きな粉をまぶす。



社会医療法人 川島会

日本医療機能評価機構認定病院

川島病院
理事長 / 川島 周 院長 / 水口 潤
〒770-0011 徳島県徳島市北佐古一番町1-39
電話: 088-631-0110 FAX: 088-631-5500

内科・人工透析内科
川島透析クリニック
院長 / 土田 健司
〒770-0011 徳島県徳島市北佐古一番町 6-1
電話: 088-634-0200 FAX: 088-612-8321

内科・人工透析内科
鴨島川島クリニック
院長 / 川原 和彦
〒776-0033 徳島県吉野川市鴨島町飯尾字福井 396-3
電話: 0883-24-8551 FAX: 0883-22-1355

内科・人工透析内科
鳴門川島クリニック
院長 / 林 郁郎
〒772-0043 徳島県鳴門市大津町段関字西 68-5
電話: 088-683-0810 FAX: 088-683-0818

内科・人工透析内科・糖尿病内科
脇町川島クリニック
院長 / 深田 義夫
〒779-3602 徳島県美馬市脇町大字猪尻字建神社下南 39-2
電話: 0883-55-0110 FAX: 0883-55-0130

楽しい Kind
誠実な Honest
伸びゆく Growing



地域医療を守る会のバザー

海部郡婦人連合会 副会長 石本 栄子

海部郡婦人会は、去る8月2日、海陽町海部公民館ロビーにて、地域医療を守る会のバザーを開きました。年1回3町が持ち回りで開いています。当日は沢山の皆様から不用品を出していただき、大盛況の内に終えることが出来ました。これは全額地域医療を守る会にお渡します。

今、少子高齢化に伴い、地方の病院の先生の数が減少しています。海部郡内の病院・診療所でも起きています。私達は先生に手作り弁当の差し入れ、家族での釣り大会、クリスマスケーキ、バレンタインチョコなど・・・。ささやかな気持ちをお届けし、海部郡を好きになって、ここで暮らしたい、できるだけ長く診療を続けていただきたいとの思いからです。

これからも、地域医療を守る会を皆で全力で応援していきます。



地域と共に婦人会活動を

阿南市羽ノ浦婦人会 会長 森本 晃子

昭和21年に設立された羽ノ浦婦人会は“人格・教養を高め、地位の向上を図り、明るい町づくりに貢献する”と示され、以来、激動の社会変化とともに数々の活動史を重ねられ、現在へと婦人会活動を継承して下さった先輩諸姉に敬意を表します。

主たる活動として、健康・料理・手芸教室、親睦研修旅行等の定期開催です。それぞれ「敬老のつどい」「市・県婦連芸能大会」への出演、公民館フェスタへの作品展示等で成果を披露しています。

子ども・人権教育フェスティバルへの参加・協力、岩脇公園には婦人会担当スペースで花壇管理をする等を通し、町内他団体の方々との交流の場にもなっています。

また、古紙回収は、町内各地区からのご協力を得て実施し、婦人会運営を支えて下さっている事を実感できる機会でもあります。

今後も女性の視点からそれぞれの課題に向かい合い元気で楽しみながら、女性パワーを発揮出来たらと願っています。



紫陽花祭りに参加して

海部郡牟岐町婦人連合会 副会長 江岡 弘子

紫陽花の花言葉ってな～にそれは、雨続きのうっとうしい時期に咲くから「移り気とか高慢」なんてネットに書いてあるよ。それって、花の色に関係ないの？あるある、ピンク・紫・白と色によって違うんだよ。紫陽花の花をよく見ると、小さな花がいっぱい集まって、一つの大きな花になっている。白は純粋を表しているし、紫は寛容ということを表しています。

今年も6月21日(日)、「紫陽花祭り」は薄日の射す、やわらかい天気にも恵まれ、前に海が見える牟岐町、内妻の紫陽花ロードで開催されました。私たち会員約10人で、今年も焼きそばを200玉ほど焼きました。お客様は「今年の焼きそばは、いつになくうまい、特にキャベツが美味しかった。」とお褒めの言葉を戴きました。点前みそながら会員の皆さんとも、今年のそばは美味しいと、楽しい会話に盛り上がり、いつまで元気で、こうしてお手伝いができるのかとふと思いつつ、...

これからも婦人会活動を通じて、使命感を持ち続ける大切さを感じました。冒頭の花言葉のように、「会員の一人、一人が紫陽花のような小さな花びら、でも、助け合って集結し活動して、大きな花になってゆかなければ」と。

そして、ある程度純粋にある程度寛容に、ピンク紫陽花の花言葉にある元気な女性という言葉をかみしめながら、古来日本に伝わる花言葉を最後に心にとどめ置きたいと思います。



全国大会～福岡の地を訪れて～

雨の中合格祈願 天満宮 人の波	藤田 恒子
昼の研修 夜の交流にこやかに 婦人集いて	吉成由美子
全国大会	武市千鶴子
雨の中孫の為にと二拍二札	中浦 重子
福岡市全国大会 大成功	志磨久美子
乙女舞い 若さの渦がいっぱいに	下浦 敏子
福岡の夜景の美には満足ジャー	〇〇亭シワコ
バスの中 育美講座でシワできる	喜島 寧子
大宰府で 中国人が はばきかす	高橋 文子
大丈夫 言葉一つで 盛り上がり	桐本 久子
六十三回大会の 金管バンドのすばらしさ	佐野 紀代
会長の 大丈夫の教へに 勇気わく	秋成ふみよ
吹奏楽 聞けてよかった 福岡大会	笠井 博美
異国かと 疑う 太宰の 人の波	浮津博千代
天満宮 孫の成長 願いつつ	稲岡 清子
バスの旅 尻の限界 三時間	加藤ハルコ
由布岳に 想い残して 霧の中 バスで目指すは	前田 鈴代
研究大会	観野 幸子
全国の 婦人の パワーに 感心す	出葉 順子
大宰府の 表参道 歩いたら 日本人と 中国人 参	ペンネームくいしんぼう
拝する人 一対九	谷崎 初代
天満宮 孫を頼むと 手を合わす	島山ツミ子
心のこり 博多ラーメン 食べられず	
福岡の 心へのこる? 法話かな?	
福岡に 集い 揃いし 婦人会	

編集後記

今年、第30回を記念する大会「戦争体験を語り継ぐ会」と「三世代交流芸能大会」があり、四国ブロック大会も本県が会場となり開催されました。何とも言えない多忙な一年でしたが、ご協力いただいた皆様のお蔭で、こうした広報の紙面で報告することができました。また、発行にあたり原稿をお寄せいただいた方々どうもありがとうございました。感謝!

県婦連なでしこ編集部 徳島県婦人団体連合会 理事 上野 恵子

『地域とともに お客さまとともに 明日に向かって』

徳島銀行 | TOMONY HOLDINGS

徳島県認定 3R移行事業所 優良認定 電話無料フリーダイヤル 0120-5388-352

ゴミはサンコウに!

ゴミの処理はおまかせください! 【マリンピア第2工場】

機密書類も未開封のまま処理します!

未来を守る循環型社会を推進! www.sankoclean-sc.co.jp

(株)三幸クリーンサービスセンター 本社/徳島市徳島本町2丁目16番地 Tel.088-625-8488